

2021年3月期 第1四半期
決算補足資料

2020年8月11日



MRKホールディングス株式会社
(東京証券取引所 市場第二部 証券コード 9980)

2021年3月期 第1四半期

決算 ハイライト

1. 徹底したコロナ対策が奏功したこと、安定した顧客基盤により、減収は限定的に留まる。
緊急事態宣言解除後においては、前年を上回る。
2. 5月下旬より投じたTVCM等の効果により、新規顧客数が堅調に推移。
3. コロナ第2波等、不測の事態に対する継続した対策。

第1四半期 連結損益計算書

	2020年3月期 第1四半期	構成比	2021年3月期 第1四半期	構成比	増減額	前期比
売上高	4,256	100.0%	3,829	100.0%	△427	90.0%
売上総利益	3,288	77.2%	2,885	75.4%	△402	87.7%
営業利益	55	1.3%	△174	△4.6%	△229	-
経常利益	108	2.6%	△137	△3.6%	△245	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	94	2.2%	△153	△4.0%	△248	-

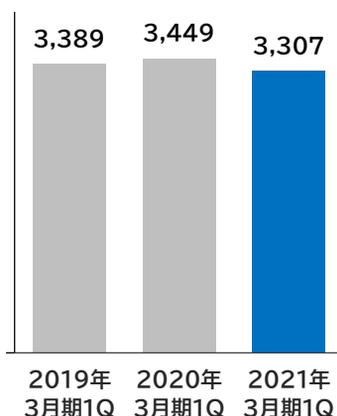
※ 売上総利益は差引売上総利益を記載しております。

第1四半期 連結貸借対照表

	2020年3月末	2021年6月末	増減額	主な要因
流動資産	11,934	11,938	4	主に現金及び預金の増加
固定資産	5,691	5,644	△46	主に無形固定資産の減少
資産合計	17,625	17,582	△42	
流動負債	3,820	4,063	242	主に短期借入金の増加
固定負債	676	574	△102	主に退職給付に係る負債の減少
純資産	13,127	12,944	△182	主に剰余金の配当による利益剰余金の減少
負債純資産合計	17,625	17,582	△42	

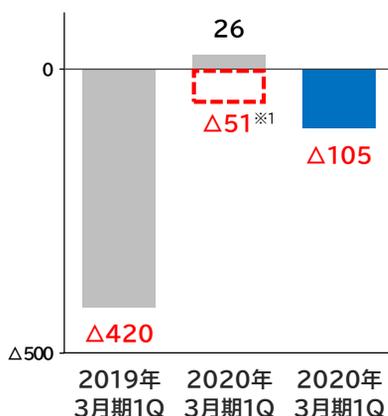
婦人下着及びその関連事業

売上高推移 (百万円)



コロナ禍による自粛要請等に伴う全店一斉休業により、5月の売上が前年を下回る。

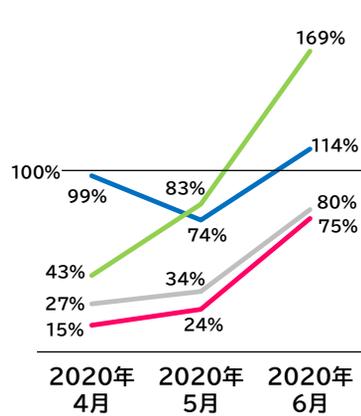
セグメント利益推移 (百万円)



売上減少による影響に伴い減益。

※1. 前期、棚卸資産の評価基準の変更による、利益増加分77百万円を差引いたセグメント損失は51百万円。

マルコ売上前年比推移

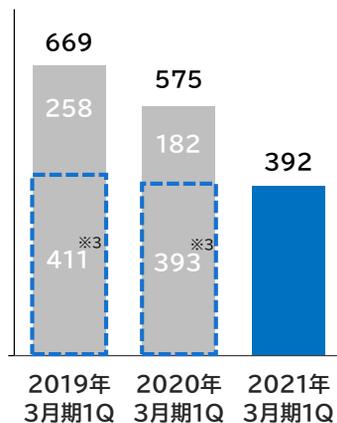


TVCM等の投入により、新規顧客数ならびに売上は回復基調。

※2. マルコの売上高にはネット販売の売上及びポイント調整額を含みません。
出典：日本百貨店協会 全国百貨店売上高概況

マタニティ及びベビー関連事業

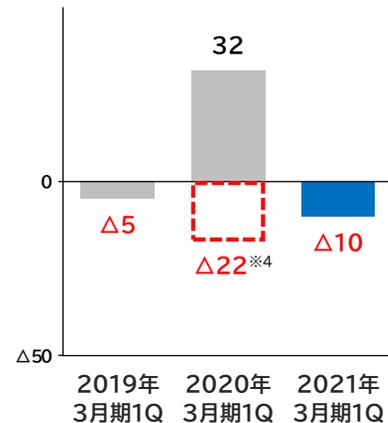
売上高推移 (百万円)



不採算のカタログギフト部門からの撤退及び、コロナ禍の影響による店舗休業を受け減収。

※3. 点線部分は、カタログギフト部門の売上を除いた売上。

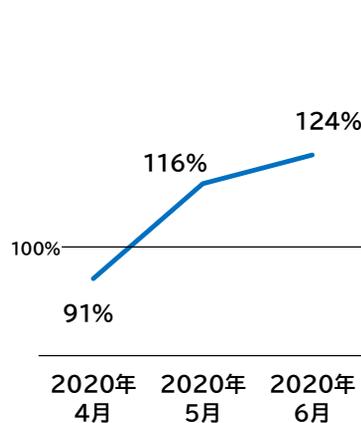
セグメント利益推移 (百万円)



前期の一過性の影響を除いた場合、セグメント損失は改善基調で推移。

※4. 前期、棚卸資産の評価基準の変更による、利益増加分54百万円を差引いたセグメント損失は22百万円。

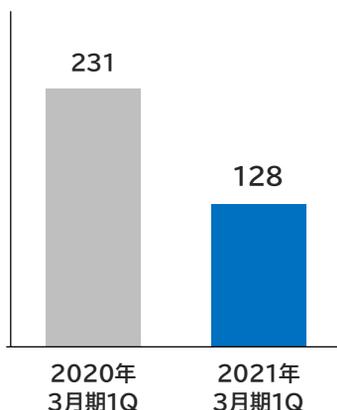
EC売上前年比推移



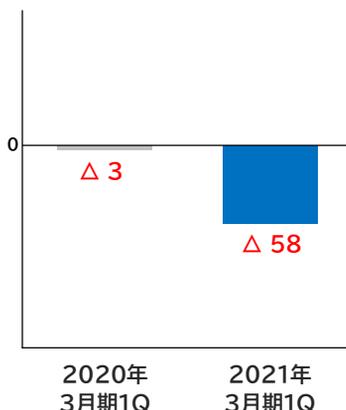
EC売上は、巣ごもり消費等の好影響により、前年比で順調に推移。

その他

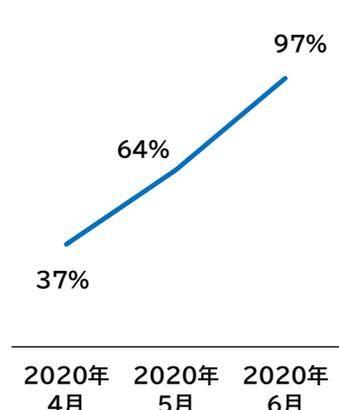
売上高推移 (百万円)



セグメント利益推移 (百万円)



ヘアサロン関連前年比推移



その他の売上及び利益が前年同期を下回った要因としては、コロナ禍の影響によるプライダル及びヘアサロン店舗の長期休業の影響によるもの。

ヘアサロン関連事業は、緊急事態宣言の解除後、営業再開により売上が順調に回復。

グループ店舗一覧

全国	224店舗
MARUKO	210店舗
エンジェリーベ	3店舗
ヘアサロン	8店舗
プライダル	2店舗
BRICK CAFÉ	1店舗



免責事項

本資料は、当社および当社グループの企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性・完全性を保証または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがありますので、予めご了承ください。

MRKホールディングス株式会社 IRグループ 06-7655-7177